

美学・西洋美術史専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
美学・西洋美術史概論	西洋美学概論(前期)	2	フォンガロ エンリコ	3	水	2	1
美学・西洋美術史概論	西洋美学概論(後期)	2	フォンガロ エンリコ	4	水	2	2
美学・西洋美術史概論	ヨーロッパ美術の北と南 ——リアリズムの行方	2	尾崎 彰宏	4	金	3	3
美学・西洋美術史基礎講読	西洋美術史文献精読	2	森田 優子	3	水	4	4
美学・西洋美術史基礎講読	西洋美術史文献精読	2	森田 優子	4	水	4	5
美学・西洋美術史各論	ネーデルラント美術における共感表現、スペクタクル、美術市場	2	尾崎 彰宏	5	金	3	6
美学・西洋美術史各論	凱旋門と活人画	2	京谷 啓徳	集中(5)			7
美学・西洋美術史演習	西洋美学演習(前期)	2	フォンガロ エンリコ	5	木	5	8
美学・西洋美術史演習	西洋美学演習(後期)	2	フォンガロ、エンリコ	6	木	5	9
美学・西洋美術史演習	西洋美術史に関する方法論の諸問題	2	尾崎 彰宏	5	金	4	10
美学・西洋美術史演習	西洋美術に関する方法論の諸問題	2	尾崎 彰宏	6	金	4	11
美学・西洋美術史実習	西洋美術史の基礎知識と調査入門	2	尾崎 彰宏	5	火	3、4	12
美学・西洋美術史実習	美術作品の調査法について	2	尾崎 彰宏	6	火	3、4	13

科目名：美学・西洋美術史概論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：フォンガロ エンリコ (准教授)

講義コード：LB33203, 科目ナンバリング：LHM-ART202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美学概論 (前期)

2. Course Title (授業題目)：

Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lecture)

3. 授業の目的と概要：

美学とは何かという問題からはじめ、西洋美学の「大理論」時代を紹介することが目的である。美・美術・芸術などの根本的な概念について、古代ギリシャから順番に、それぞれを代表する哲学者、芸術家等を取りあげ、スライドを使いながら、背景となる哲学的思想について解説していく。

4. 学習の到達目標：

西洋美学における根本的な概念を紹介し、ギリシャ・ローマ時代からの美学の変遷について理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業の紹介：「美学」とは何か。
2. 翻訳の問題：「美」とは何か。
3. 調和・儀礼・アート・リズム。
4. 言外の美学：コレヤとテクネ。
5. 悲劇の誕生。
6. 西洋美学の「大理論」：ピタゴラス学派の美学。
7. ソフィスト達とゴルギアスの美学。
8. プラトンの美学：美のアイデア。
9. プラトンの美学：プラトンの芸術論。
10. アリストテレスの美学：『詩学』その一。
11. アリストテレスの美学：『詩学』その二。
12. ヘレニズム時代の美学：ストア学派の美学。
13. ローマ時代の美学：キケロの美学。
14. ローマ時代の美学：ヴィトルヴィウスの美学と『崇高について』。
15. 復習と試験。

6. 成績評価方法：

積極的な授業態度、授業のプロトコール (記録)、学期末試験による評価を予定している。

7. 教科書および参考書：

講義中に詳しく指示する。

8. 授業時間外学習：

授業の復習を行なう。プロトコールを書く。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史概論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lectur

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：フォンガロ エンリコ（准教授）

講義コード：LB43203, 科目ナンバリング：LHM-ART202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美学概論（後期）

2. Course Title (授業題目)：

Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lecture)

3. 授業の目的と概要：

西洋美学における根本的な概念について、前期に学習した内容を踏まえたうえで、その変遷についてそれぞれを代表する哲学者、芸術家等を取りあげ、スライドを使いながら、背景となる哲学的思想について解説していく。

4. 学習の到達目標：

西洋美学における根本的な概念を紹介し、近代・現代に向かう美学の変遷について理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. プロティノスの美学その一。
2. プロティノスの美学その二。
3. キリスト教と中世時代の美学。
4. 中世東欧の美学：ビザンチンの美学。
5. 中世西欧の美学：アウグスティヌスと中世のプラトン主義。
6. 人文主義とルネッサンスの美学：アルベルティ、フィチーノ、ブルーノの美学。
7. 近代への転換：バロックの美学。
8. 十八世紀の美学：カントその一。
9. 十八世紀の美学：カントその二。
10. 十九世紀の美学：シェリングとショーペンハウアー。
11. 十九世紀の美学：ヘーゲルとキルケゴール。
12. 十九世紀の美学：ニーチェの美学。
13. 二十世紀の美学の諸流その一。
14. 二十世紀の美学の諸流その二。
15. 復習と試験。

6. 成績評価方法：

積極的な授業態度、授業のプロトコール（記録）、学期末試験による評価を予定している。

7. 教科書および参考書：

講義中に詳しく指示する。

8. 授業時間外学習：

授業の復習を行なう。プロトコールを書く。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史概論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lectur

曜日・講時：後期 金曜日 3 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB45302, 科目ナンバリング：LHM-ART202J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ヨーロッパ美術の北と南 ——リアリズムの行方

2. Course Title (授業題目)：

Northern and South of European Art - The Way of Realism

3. 授業の目的と概要：

絵画には自然をありのままに描く手法、リアリズムと人間の内面に鏡をかざすリアリズムとがある。この両面に着目してルネサンス以降の西洋美術の流れを学ぶ。

4. 学習の到達目標：

(1) ルネサンス以降の美術作品の見方を学ぶことができる。(2) 美術の歴史を芸術家と地域が織りなす、「個性」のぶつかり合いという視点から学ぶことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 イン트로ダクション

第2回 ジョット以前

第3回 ジョットと13世紀美術

第4回 ジョットのアレーナ礼拝堂

第5回 15世紀イタリア美術Ⅰ

第6回 15世紀イタリア美術Ⅱ

第7回 16世紀イタリア美術Ⅰ

第8回 16世紀イタリア美術Ⅱ

第9回 初期ネーデルラント美術

第10回 16世紀ネーデルラント美術Ⅰ

第11回 16世紀ネーデルラント美術Ⅱ

第12回 17世紀南北美術Ⅰ

第13回 17世紀南北美術Ⅱ

第14回 近代美術への道

第15回 まとめ

6. 成績評価方法：

平常点／試験／レポート

7. 教科書および参考書：

教室で指示する。

8. 授業時間外学習：

授業のテーマとの関連から読むべき本を指定するので、そうした書物を読んだり、実際に美術館等に足を運んで作品をじかに見たりすることが必要。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史基礎講読／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Introductory R

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：森田 優子（非常勤講師）

講義コード：LB33406, 科目ナンバリング：LHM-ART206J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美術史文献精読

2. Course Title (授業題目)：

Intensive Reading of Western Art History

3. 授業の目的と概要：

欧文文献の精読を行い、美術作品を研究する基礎を身に着ける。

4. 学習の到達目標：

西洋美術史に関する英語文献を正確に読めるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション

2. 講読 (1)

3. 講読 (2)

4. 講読 (3)

5. 講読 (4)

6. 講読 (5)

7. 講読 (6)

8. 講読 (7)

9. 講読 (8)

10. 講読 (9)

11. 講読 (10)

12. 講読 (11)

13. 講読 (12)

14. 講読 (13)

15. 試験

6. 成績評価方法：

授業への出席・発表（60%）、試験（40%）

7. 教科書および参考書：

教科書・参考書 プリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

授業時間外学習 授業前に自分の分担部分を和訳し、それ以外の部分にも目を通しておくこと。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史基礎講読／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Introductory R

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：森田 優子（非常勤講師）

講義コード：LB43407, 科目ナンバリング：LHM-ART206J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美術史文献精読

2. Course Title (授業題目)：

Intensive Reading of Western Art History

3. 授業の目的と概要：

西洋美術史の研究を行う上で基礎となる欧文文献の精読を行い、美術作品研究の基礎を身に着ける。そのうえで、古典語、フランス語、ドイツ語、イタリア語などにも目配りできるようになることが望ましい。

4. 学習の到達目標：

西洋美術史に関する英語文献を正確に読めるようになるとともに、英語以外の言語についても調べられるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション

2. 講読 (1)

3. 講読 (2)

4. 講読 (3)

5. 講読 (4)

6. 講読 (5)

7. 講読 (6)

8. 講読 (7)

9. 講読 (8)

10. 講読 (9)

11. 講読 (10)

12. 講読 (11)

13. 講読 (12)

14. 講読 (13)

15. 試験

6. 成績評価方法：

授業への出席・発表（60％）、試験（40％）

7. 教科書および参考書：

授業中に指示する。

8. 授業時間外学習：

授業前に自分の分担部分を精読・和訳し、それ以外の部分にも目を通しておくこと。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史各論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Special Lectur

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB55302, 科目ナンバリング：LHM-ART302J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ネーデルラント美術における共感表現、スペクタクル、美術市場

2. Course Title (授業題目)：

Empathy representation in the Netherlandish art, spectacle, art market

3. 授業の目的と概要：

現在、研究を進行させている「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」の研究成果を盛りこみながら、ネーデルラント美術の創造性がどのように生まれたのかを探っていききたい。その問題と並行して、感性論としての美術史としてアルプス以北の美術作品に見られる「視覚」の新しい試み、つまりいかに触覚的な要素が美術作品に反映しているのかアルチンボルドやボッスなどさまざまなネーデルラントの画家を例に取りながら、アプローチしていきたい。

現在研究中の課題であり、1回目の授業において、特論のおおよその見取り図を示すようにしたい。

4. 学習の到達目標：

美術作品の解説には、時代によってさまざまなアプローチがなされてきたが、鑑賞者の感性が作品解釈に大きなウェイトを占めること理解し、美術作品にアプローチする新たな方法論を学べる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 イン트로ダクション

第2回 15世紀ネーデルラント絵画Ⅰ

第3回 15世紀ネーデルラント絵画Ⅱ

第4回 15世紀ネーデルラント絵画Ⅲ

第5回 16世紀ネーデルラント絵画Ⅰ

第6回 16世紀ネーデルラント絵画Ⅱ

第7回 16世紀ネーデルラント絵画Ⅲ

第8回 17世紀ネーデルラント絵画Ⅰ

第9回 17世紀ネーデルラント絵画Ⅱ

第10回 17世紀ネーデルラント絵画Ⅲ

第11回 レンブラントⅠ

第12回 レンブラントⅡ

第13回 レンブラントⅢ

第14回 18世紀ネーデルラント絵画

第15回 まとめ

6. 成績評価方法：

レポート／出席／試験

7. 教科書および参考書：

講義中に指示する。

8. 授業時間外学習：

講義で取りあげた文献に自分で当たったり、紹介された作品を自分で見に行く努力が必要。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史各論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Special Lectur

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：集中(5), 単位数：2

担当教員：京谷 啓徳 (非常勤講師)

講義コード：LB98824, 科目ナンバリング：LHM-ART302J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

凱旋門と活人画

2. Course Title (授業題目)：

Triumphal Arches and Tableaux Vivants

3. 授業の目的と概要：

活人画とはフランス語「tableau vivant (生きている絵画)」の翻訳語であり、衣裳を身に着けた人物が静止した状態で絵画を再現するパフォーマンスを意味する。明治期の日本には各種西洋風俗が流入したが、その一つである活人画は当時たいへんな流行を見た。そして明治の人々が活人画に打ち興じていたちょうどその頃、日清日露の戦勝を祝賀して全国に陸続と建設されたのが凱旋門であった。凱旋門と活人画、このまったく無関係に思える二つの西洋風俗は、実はかつて、ルネサンス期のヨーロッパにおいて結びついていた。両者は一体となってルネサンス宮廷の君主のスペクタクルを形作っていたのだ。本講義では「凱旋門と活人画」という新たな視点から、ルネサンス宮廷文化と近代日本をつなぐ糸を探ってみたい。

4. 学習の到達目標：

「凱旋門と活人画」という観点からスペクタクル文化を理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. はじめに
2. ルネサンスのハリボテ凱旋門(1)
3. ルネサンスのハリボテ凱旋門(2)
4. ルネサンスの活人画(1)
5. ルネサンスの活人画(2)
6. ポッセッソ―新教皇のスペクタクル(1)
7. ポッセッソ―新教皇のスペクタクル(2)
8. 近代の凱旋門
9. 近代の活人画(1)
10. 近代の活人画(2)
11. 近代の活人画(3)
12. 明治の凱旋門と活人画(1)
13. 明治の凱旋門と活人画(2)
14. 額縁ショウをめぐる
15. まとめ

6. 成績評価方法：

レポート

7. 教科書および参考書：

講義中に指示する

8. 授業時間外学習：

特になし

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 5 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：フォンガロ エンリコ（准教授）

講義コード：LB54502, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美学演習（前期）

2. Course Title (授業題目)：

Aesthetics and History of European Fine Arts (Advanced Seminar)

3. 授業の目的と概要：

西洋美学に関する文献を原文で、場合によっては日本語訳を参照しながら精読し、そこに書かれた概念について説明を行なっていく。また、取り上げられたトピックにもとづき、美学の諸問題に関して議論を行なう。参加者は、自分の興味分野と問題意識にもとづき、積極的に議論に参加することが求められる。

4. 学習の到達目標：

西洋美学に関する文献を精読し、西洋美学における基礎的な概念について理解を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

今年は特に、ドゥルーズのイメージおよび映画論を中心として議論をすすめる予定である。
文献を原文で、または日本語訳を参照しながら精読し、そこに書かれた概念について説明を行なっていく。
取り上げられたトピックにもとづき、美学の諸問題に関して議論を行なう。
参加者は、授業後、授業外に指定された映画を鑑賞することを必須とする。

6. 成績評価方法：

授業における議論および、最終口頭試験により総合して評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書

ジル・ドゥルーズ（著）

Cinéma 1: L' image-mouvement (1983) 『シネマ 1 運動イメージ』 財津理、斎藤範訳 法政大学出版局、2008

Cinéma 2: L' image-temps (1985) 『シネマ 2 時間イメージ』 宇野邦一ほか訳 法政大学出版局、2006

ベルクソン（著）、熊野 純彦（翻訳）『物質と記憶』（岩波文庫）文庫

その他講義中にプリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

授業中に出された課題について自分の考えをまとめる。映画を鑑賞する（必須）。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：後期 木曜日 5 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：フォンガロ、エンリコ（准教授）

講義コード：LB64502, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美学演習（後期）

2. Course Title (授業題目)：

Aesthetics and History of European Fine Arts (Advanced Seminar)

3. 授業の目的と概要：

西洋美学に関する文献を原文で、場合によっては日本語訳を参照しながら精読し、そこに書かれた概念について説明を行っていく。また、取り上げられたトピックにもとづき、美学の諸問題に関して議論を行なう。参加者は、自分の興味分野と問題意識にもとづき、積極的に議論に参加することが求められる。

4. 学習の到達目標：

西洋美学に関する文献を精読し、西洋美学における基礎的な概念について理解を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

前期に引き続き、ドゥルーズのイメージおよび映画論を中心として議論をすすめる予定である。

文献を原文で、または日本語訳を参照しながら精読し、そこに書かれた概念について説明を行っていく。

取り上げられたトピックにもとづき、美学の諸問題に関して議論を行なう。

参加者は、授業後、授業外に指定された映画を鑑賞することを必須とする。

6. 成績評価方法：

授業における議論および、最終口頭試験により総合して評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書

ジル・ドゥルーズ（著）

Cinéma 1: L' image-mouvement (1983) 『シネマ 1 運動イメージ』 財津理、斎藤範訳 法政大学出版局、2008

Cinéma 2: L' image-temps (1985) 『シネマ 2 時間イメージ』 宇野邦一ほか訳 法政大学出版局、2006

ベルクソン（著）、熊野 純彦（翻訳）『物質と記憶』（岩波文庫）文庫

その他講義中にプリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

授業中に出された課題について自分の考えをまとめる。映画を鑑賞する（必須）。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB55406, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美術史に関する方法論の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Problems of Methodology on Western Art History

3. 授業の目的と概要：

西洋美術史の雑誌論文や話題になった研究書を取りあげ、それを熟読し、その問題点や研究上活用できる研究方法について学び、議論を重ねていく。The Art Bulletin, Simiolus, Netherlands Kunsthistorisch Jaarboek に掲載された論文を中心に取りあげる。

4. 学習の到達目標：

西洋美術史の最新研究にふれながら、ルネサンス以降の美術作品の研究動向を熟知できる。作品を分析する方法を身につけることができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 イントロダクション

第2回 イタリア・ルネサンス美術関係文献Ⅰ

第3回 イタリア・ルネサンス美術関係文献Ⅱ

第4回 イタリア・ルネサンス美術関係文献Ⅲ

第5回 ネーデルラント美術関係文献Ⅰ

第6回 ネーデルラント美術関係文献Ⅱ

第7回 ネーデルラント美術関係文献Ⅲ

第8回 17世紀オランダ美術関係文献Ⅰ

第9回 17世紀オランダ美術関係文献Ⅱ

第10回 17世紀フランドル美術関係文献Ⅰ

第11回 17世紀フランドル美術関係文献Ⅱ

第12回 近世・近代美術関係文献Ⅰ

第13回 近世・近代美術関係文献Ⅱ

第14回 近世・近代美術関係文献Ⅲ

第15回 まとめ

6. 成績評価方法：

出席／平常点／レポート

7. 教科書および参考書：

教室で指示する。

8. 授業時間外学習：

欧文の論文を前もって予習してくる必要がある。最新の論文であるから予習には相当の時間をかけて勉強することが求められる。また、そこで論じられていること、あるいは派生することを考えていくために、関連文献にあたることが求められる。発表者は学期に一度、担当論文を全訳する必要がある、計画的に自主的な勉強を続ける必要がある。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB65404, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美術に関する方法論の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Multifaceted problems of methodology on Western art history

3. 授業の目的と概要：

西洋美術史の雑誌論文や話題になった研究書を取りあげ、それを熟読し、その問題点や研究上活用できる研究方法について学び、議論を重ねていく。The Art Bulletin, Simiolus, Netherlands Kunsthistorisch Jaarboek に掲載された論文を中心に取りあげる。

4. 学習の到達目標：

西洋美術史の最新研究にふれながら、ルネサンス以降の美術作品の研究動向を熟知できる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 イン트로ダクション

第2回 イタリア・ルネサンス美術関係文献Ⅰ

第3回 イタリア・ルネサンス美術関係文献Ⅱ

第4回 イタリア・ルネサンス美術関係文献Ⅲ

第5回 ネーデルラント美術関係文献Ⅰ

第6回 ネーデルラント美術関係文献Ⅱ

第7回 ネーデルラント美術関係文献Ⅲ

第8回 17世紀オランダ美術関係文献Ⅰ

第9回 17世紀オランダ美術関係文献Ⅱ

第10回 17世紀フランドル美術関係文献Ⅰ

第11回 17世紀フランドル美術関係文献Ⅱ

第12回 近世・近代美術関係文献Ⅰ

第13回 近世・近代美術関係文献Ⅱ

第14回 近世・近代美術関係文献Ⅲ

第15回 まとめ

6. 成績評価方法：

出席／平常点／レポート

7. 教科書および参考書：

教室で指示する。

8. 授業時間外学習：

欧文の論文を前もって予習してくる必要がある。最新の論文であるから予習には相当の時間をかけて勉強することが求められる。また、そこで論じられていること、あるいは派生することを考えていくために、関連文献にあたることが求められる。発表者は学期に一度、担当論文を全訳する必要がある、計画的に自主的な勉強を続ける必要がある。

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史実習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Laboratory Wor

曜日・講時：前期 火曜日 3講時. 前期 火曜日 4講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB52306, 科目ナンバリング：LHM-ART307J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

西洋美術史の基礎知識と調査入門

2. Course Title (授業題目)：

Basic Understanding of Western Art History and Introduction to its Research Methodology

3. 授業の目的と概要：

西洋美術分野の基礎知識を身につけるとともに、美術作品の調査法を身につける。同時に博物館・美術館をいくつか見学し、展示法などについて考える。

4. 学習の到達目標：

美術作品の作品記述、写真撮影、カタログ化などをひととおり自分で行えるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス、発表の仕方、展覧会評の書き方
2. 展覧会見学
3. 写真撮影の仕方
4. 調書の作り方、作品記述の方法
5. 発表
6. 展覧会見学
7. 学術文献、論文の探し方
8. 小テスト、発表
9. 小テスト、発表
10. 展覧会見学
11. 小テスト、発表
12. 小テスト、発表
13. 小テスト、発表
14. 小テスト、発表
15. まとめ

※展覧会の開催日程により、予定変更となる場合あり

6. 成績評価方法：

レポート、テスト、出席などによって評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書：H・W・ジャンソン『西洋美術の歴史』（創元社）

8. 授業時間外学習：

表の準備、小テスト対策（復習）、展覧会評の提出

9. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史実習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Laboratory Wor

曜日・講時：後期 火曜日 3 講時. 後期 火曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB62306, 科目ナンバリング：LHM-ART307J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

美術作品の調査法について

2. Course Title (授業題目)：

How to look at art works and to discuss them deeply.

3. 授業の目的と概要：

◆授業内容：美術史は何よりも作品観察から出発する。この作品をどのように観察し、それを言葉で表現するか、そのためにはどのようなアプローチが必要かを学ぶ。

4. 学習の到達目標：

美術作品にかんするより高度な観察力と記述力を養うことができる

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 はじめに

第2回 空想の美術展の作成のための準備Ⅰ

第3回 空想の美術展の作成のための準備Ⅱ

第4回 空想の美術展のタイトルについて

第5回 空想の美術展のコンセプトⅠ

第6回 空想の美術展のコンセプトⅡ

第7回 美術館へ作品見学Ⅰ

第8回 空想の美術展の作品選定Ⅰ

第9回 美術館へ作品見学Ⅱ

第10回 空想の美術展の作品選定Ⅱ

第11回 美術館へ作品見学Ⅲ

第12回 空想の美術展の中間報告

第13回 空想の美術展の仕上げ

第14回 美術館へ作品見学Ⅳ

第15回 空想の美術展の合評会

6. 成績評価方法：

出席／平常点／レポート

7. 教科書および参考書：

ジャンソン『美術の歴史』、その他は授業時間に指示する。

8. 授業時間外学習：

できるだけ美術館、博物館に足を運びじかに作品に接するようにする。できれば、ヨーロッパの美術館へ出かけることができれば、大きく視野が広がる。

9. その他：なし